



須坂市消防団広報紙



さくら：消防団のシンボルマークは桜の花をモデルにしています

2019 11
(令和元年)

6月23日 須高消防技術大会が行われました (写真は小型ポンプ操法優勝第八分団)

平成三十一年四月一日付で第二十二代須坂市消防長を拝受しました田村忠男と申します。

日頃、消防行政にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。伝統ある組織を担う重責を痛感し、身の引き締まる思いでございます。微力ではございますが、須坂市消防の輝かしい歴史に恥じぬよう、地域住民の安全・安心確保の一助たるべく、精励恪勤・勇往邁進を心掛け、一層精進してまいる所存にございますので、前任者同様何卒一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

火災や自然災害は社会に与える影響が大きく、活動には常備、非常備の結合力・団結力が不可欠であり、災害に備えるため、一層、積極的、広範にわたり、消防行政の展開を図ってまいります。

末筆ではございますが皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶いたします。

就任挨拶



須坂市消防長
田村 忠男

就任のご挨拶



須坂市消防団
本部ラッパ長
湯本 直樹

平成三十一年一月より本部ラッパ長を拝命し、本年も、各地域行事での演奏活動、各地区におけるラッパパレード等の広報活動、災害現場での活動他、様々な任務を受け持つ中で活動して参りました。

日々の活動を通じて、市民の皆様や諸先輩方からは心温まる声援、感謝の念に堪えない激励等を頂き、隊員一同、これまで以上に地域防災に貢献し、市民に愛される消防団ラッパ隊を目指し、技術の向上を図っていく所存です。

全国的に災害が多発する昨今、須坂市でも先月の台風19号の襲来で甚大な被害が発生し、我々消防団員も総力を挙げて災害防衛、救助活動等を行いましたが、まだその爪痕が残っています。まずは予防、消防の啓発活動に力を注ぎ、有事の際には災害現場活動に全力を尽くしたいと考えておりますので、活動へのご理解を賜りますことをお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

消防団とは

消防団は、本業を持ちながら『自分たちのまちは自分たちで守る』という郷土愛護とボランティア精神に基づき組織された市町村の消防機関の一つです。

消防団員は、消防・防災に関する知識や技術を習得し、火災発生時における消火活動、地震や風水害などの大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導、災害防ぎょ活動などに従事し、昼夜を問わず地域住民の生命や財産を守るために活動しています。災害時以外には、訓練や災害を未然に防止するため火災予防、防火指導、特別警戒などを行っています。

消防団は地域防災の柱として、重要な役割を担っており、『大切な家族や地域を守りたい』そんな思いで活動している人間の集まりです。

須坂市消防団長

田中 敏勝

写真で見る消防団活動（3月～9月）



▲春季山林火災防ぎょ訓練
（3月23日）



▲春季ラッパパレード（7分団管内）
（3月24日）



▲重要水防箇所現地視察
（5月20日）



▲水防工法実技講習会
（5月26日）



▲ボート取り扱い講習会
（7月13日）



▲市総合防災訓練
（8月26日）

消防団員 家族の声



田中 睦希さん（中央）と、ご弟妹
音楽隊
田中 優子さんのご家族です

私の母は消防団音楽隊に入団しています。私の母は私が生まれる前から入団しており、幼い頃から練習に連れられ練習風景も見てきました。中学、高校の吹奏楽と比べて厚みのあるハーモニーと迫力のある音量で「さすが大人だな」と尊敬するばかりです。

吹奏楽の夕べやカタカタ祭りのパレード、早起き野球の開会式や消防団として様々な活動に参加し社会人としてもとても頑張っている母を尊敬しています。

高校生になり私も音楽隊見習いとして参加しているので親子で演奏できるのは消防団のおかげです。

消防団音楽隊の母

パパは消防団員

消防団の皆様、いつも地域のために活動していただきありがとうございます。

私の主人は、現在副分団長をして活動しています。

最初のころは消防団というものがどんな活動をしているのか分かりませんでした。防水訓練、技術大会に向けての早朝練習、歳末警戒などに出かけていく姿を見て、火災の際だけではなく災害など様々な活動をしていることを知りました。

子どもが小さいうちはやはり家にいてももらいたい思いがありました。が、私たち家族の消防団の活動への理解と協力がなければ出来ないことだと思います。これからも家族として応援し、できる限り協力していきたいと思っています。体に気をつけてこれからもがんばってください。

「パパがんばれ！」



松澤 萌々香さん（左） 希さん（右）
第5分団
松澤 雄太さんのご家族です

各地で記録的な豪雨や地震等の自然災害が報道されている。昨今、災害は他人事ではない。りません。消防団に入団して2年目になります。が振り返ってみると入団する前は地域の防災はもちろん、生まれ育つたこの地域のことについて関心が薄かったように思います。今は放水訓練や火災予防運動による半鐘、夜警等の活動を通じて地域の防災に関心が向き始めています。私の父も消防団に入り活躍していました。そしていま、縁あつて私も消防団員です。これからもこの地域で生活していくにあたり、次の世代へ消防活動をつなぐことも現役世代の私たちの使命だと思えます。私は福祉施設で働いており不規則な勤務体制ですが分団長をはじめ、部長、団員の皆様のご理解がとてもありがたく思っています。入団したことで出会うことができた仲間たちと共にこれからも地域防災のためできる限り尽力していきます。



第6分団 2部
小川 貴弘

日々消防団活動に励む消防団員の声を紹介します。

私が消防団に入団して4年が経ちました。入団当時は右も左もわからず、不安もありましたが、たくさんのおおかげで今も活動を続けています。

私たち本業を別に持ちながら、地域の予防消防や防災活動、火災や災害が発生した際には現場へ駆けつけ活動するための訓練等を行っています。事業所、職場の同僚には様々なフォローをしています。仕事をしているがらの活動に時には負担を感じることもありますが、それ以上に『達成感』を得ることが多くやりがいをもつて活動を続けることができています。事業所、職場の仲間、そして家族に感謝をしてこれからも地域の安心・安全を守るために活動を続けていきたいと思っています。



第9分団 3部
和久井 宏一

8月末から活動服が紺とオレンジを基に一新されました。

新元号「令和」
と共に消防団一同
気持ちも新たにが
んばります！

**地域の安心と安全を守るために、
あなたにもできることがあります。**

お問い合わせ

須坂市消防本部総務課 (☎026-245-4100)

e-mail:s-soumu@city.suzaka.nagano.jp



と き 11月10日（日曜日）

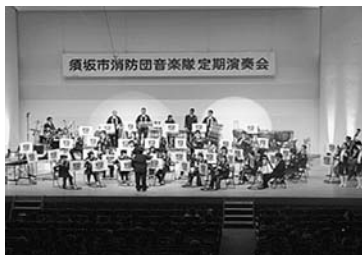
ところ 須坂市文化会館 メセナホール

開 演 午後5時（午後4時開場）

今年も定期演奏会の季節がやってきました。

皆さまに楽しんでいただける演奏会を目指して、隊員一同がんばって訓練を重ねております。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。



【演奏曲目】

- ・国民の象徴 ・カーペンターズ フォーエバー ・いだてんメインテーマ
- ・パブリカ〜栄冠は君に輝く ・伝説の「演歌」メドレー
- ・宇宙戦艦ヤマト ハイライト 他

須坂市消防団ラッパ隊の吹奏も是非ご期待ください！

須坂市消防団 消防技術大会（6月9日）

小型ポンプ操法の部



優勝 第8分団

- | | |
|------|-------|
| 優 勝 | 第8分団 |
| 準優勝 | 第4分団 |
| 3 位 | 第3分団 |
| 4 位 | 第1分団 |
| 5 位 | 第9分団 |
| 6 位 | 第7分団 |
| 7 位 | 第5分団 |
| 8 位 | 第10分団 |
| 9 位 | 第11分団 |
| 10 位 | 第2分団 |
| 11 位 | 第6分団 |

ラッパ吹奏の部



優勝 第1分団

- | | |
|------|-------|
| 優 勝 | 第1分団 |
| 準優勝 | 第8分団 |
| 3 位 | 第6分団 |
| 4 位 | 第4分団 |
| 5 位 | 第3分団 |
| 6 位 | 第11分団 |
| 7 位 | 第2分団 |
| 8 位 | 第7分団 |
| 8 位 | 第9分団 |
| 10 位 | 第5分団 |
| 11 位 | 第10分団 |

須高消防技術大会（6月23日）

小型ポンプ操法の部

- | | |
|-----|--------------|
| 優 勝 | 須坂市消防団(第8分団) |
| 準優勝 | 小布施町消防団 |
| 3 位 | 高山村消防団 |

ラッパ吹奏の部

- | | |
|-----|---------|
| 優 勝 | 須坂市消防団 |
| 準優勝 | 高山村消防団 |
| 3 位 | 小布施町消防団 |

須坂市消防団 ダブル優勝！



今回の台風19号の被害に際しまして

10月12、13日に発生しました台風19号による被害は須坂市内各地に甚大な被害が発生しました。

千曲川、八木沢川流域での漏水、仁礼地区での土砂災害、各地用水路の氾濫などがありました。

須坂市消防団では今回、土嚢積みによる土砂災害拡大の阻止やボートによる避難誘導等行いました。

被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます
須坂市消防団一同

須坂市 火災発生状況

（2019年度 令和元年5月1日～令和元年9月30日現在）

火災発生状況 6件 （建物2、車両1、その他3）

2019年度全国統一防火標語

『ひとつずつ いいね！で確認 火の用心』

編集後記

編集委員長

分団長会長 村石 時康

近年発生する自然災害は、年を追うごとに被害が甚大化する傾向にあります。火災だけでなく、大規模な災害や捜索にも対応できる組織改革が求められます。

こうした中、時代の流れに合わせた消防団のあり方を現在検討中です。受け継ぐべき事はしっかりと継承し、変えるべきところは変え、より良い方向に進めてゆく所存です。

【編集委員】

第11分団長	第10分団長	第9分団長	第8分団長	第7分団長	第6分団長	第5分団長	第4分団長	第3分団長	第2分団長	第1分団長	音楽隊長	ラッパ隊長	副団長	副団長
小林大介	松本昌男	大塚正臣	村石大	富澤大	黒岩大	丸山悠	荒井悠	小泉悠	垂澤優	勝野智	徳武洋	湯本直	関延之	中村彦